



プロジェクト名

「とっとりメモリー」(鳥取のお土産イラストブランド)の新商品開発

公立鳥取環境大学磯野ゼミでは、2016年よりゼミ独自の鳥取のお土産イラストブランド「とっとりメモリー」を企画・販売しています。これまでにこのブランドから絵はがきシリーズ、箸置きシリーズを展開し、いずれも好評を博し、これまでに多くの観光客や地元の方にご購入いただきました(写真1、2)。今年度である2020年度は、1・2年生が携わるプロジェクト研究によって、このブランドの新たな商品シリーズの開発を試みました。



▲写真1 とっとりメモリー 絵はがきシリーズ展開



▲写真2 とっとりメモリー はし置きシリーズ

まず前期プロジェクト研究チームで、コースター、買い物袋、缶バッジ、ステッカーなど様々な商品アイデアを展開し、それらの市場性や実現性を検討した後に、ステッカー案がいいのではないかという結論に至りました。それを受けて後期プロジェクト



▲写真3 ステッカーデザイン初案

研究チームで、具体的なステッカーのデザインを検討しました。試行錯誤を経て得られたステッカーデザインの数案について(写真3)、顧客調査(インタビュー調査)をおこない、より市場性のありそうな案を選択するとともに、調査から得られた顧客の声をもとに、案を修正展開しました。並行して、顧客魅力を実現する価格設定、ブランドの魅力を最大限に表現する店頭ディスプレイの展開も検討しました。そして最後に販売委

託先である「まちパル」のアドバイスをいただきながら、ステッカーデザインを決定し(写真4)、作成に進み、また店頭ディスプレイを立ち上げました(写真5)。



▲写真4 ステッカーデザイン最終案

このプロジェクト研究は、教育活動でありながら、本物の商品の企画・販売であるために、学生だからとい

う一切の妥協なしに進めることを心がけました。その結果、担当学生には大きな責任がかかり、また、チームワーキングや顧客を理解する際に伴う様々な困難を乗り越えることが求められましたが、学生は、自分が考えたアイデアを実現することの難しさと面白さを学んだはずで

す。皆様がこの原稿をお読みになる頃には、「まちパル」(まちなか太平洋線通り・若桜通り交差点角)の店頭にて、この「とっとりメモリー」ステッカーシリーズが、新たな独自の店頭ディスプレイの中で、絵はがきシリーズなどと並んで展開されているはずで



▲写真5 新しい店頭ディスプレイ

プロジェクトアドバイザー 経営学部 磯野誠 教授

プロジェクトメンバー
 プロジェクト研究2 〈環境学部〉 岩田涼奈、太田琴未、湊菜々穂、宮脇康太
 〈経営学部〉 伊坂友里、一色貫汰、梅田直矢、原田航希
 プロジェクト研究4 〈環境学部〉 寺沢小町、中川謙斗、原田真弥
 〈経営学部〉 川口和輝、高見直樹、中村颯汰、西川真由